

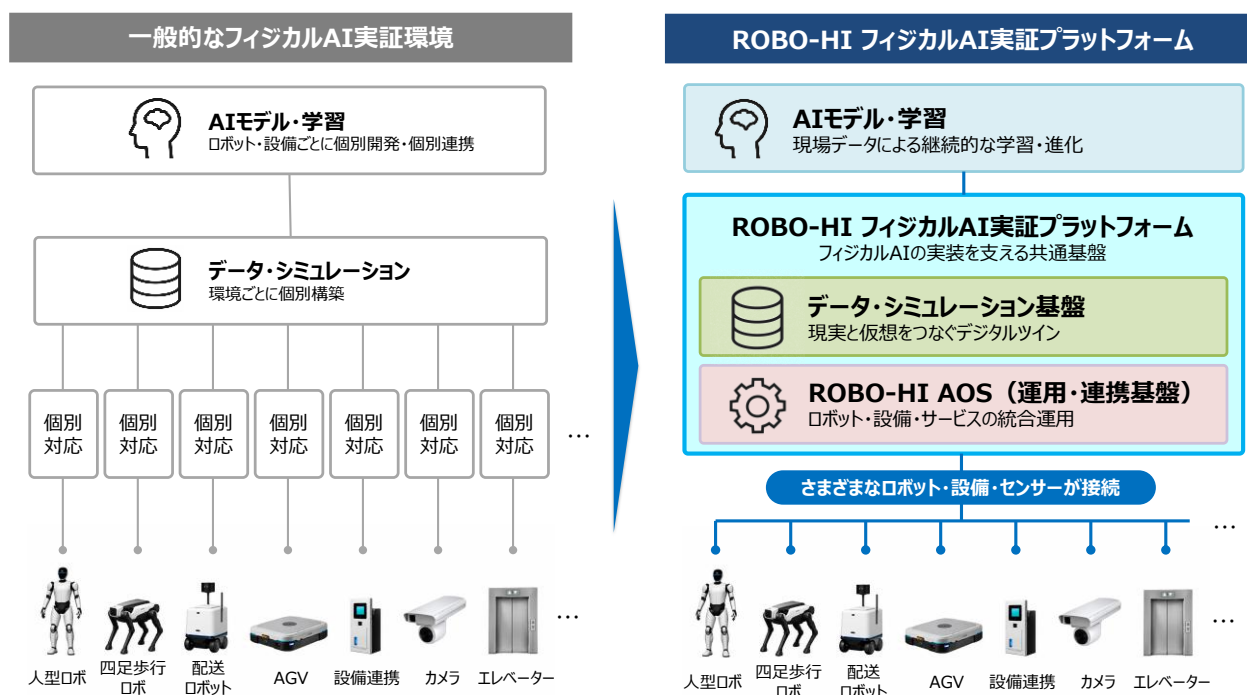
新製品リリース

デジタルツインを活用したフィジカル AI 開発・実証基盤 「ROBO-HI フィジカル AI 実証プラットフォーム」の提供を開始

仮想空間での AI 学習から実機検証までをシームレスに連携。ロボットの社会実装を加速

ROBO-HI 株式会社（本社：東京都中央区、代表取締役社長：谷口 恒、以下 ROBO-HI）は、工場・物流倉庫などの産業施設やオフィスビル、商業施設におけるロボット活用に向けたフィジカル AI の開発・実証環境「ROBO-HI フィジカル AI 実証プラットフォーム」（英文名：ROBO-HI Physical AI Validation Platform）の提供を、2026 年 9 月 15 日より開始します。

本実証プラットフォームは、NVIDIA Omniverse™を活用したデジタルツイン環境と、ROBO-HI の自律運用 OS「ROBO-HI® AOS（以下 AOS）」を組み合わせ、①クラウド上の検証環境、②統合制御 OS、③立ち上げの伴走支援、の 3 点をセットで提供するものです。現場で稼働するロボットから取得したデータをもとにシミュレーション環境で AI を学習・評価し、そのまま実フィールドでの実機検証へシームレスに移行できる一気通貫の環境を実現します。



図：ROBO-HI フィジカル AI 実証プラットフォームの概念図

■ROBO-HI フィジカル AI 実証プラットフォーム

<https://www.rob-hi.jp/robo-hi/physical-ai-validation-platform>

■ 背景：フィジカル AI 実装におけるインテグレーションの壁

近年、労働力不足を背景に、自律的に状況を判断して動く「フィジカル AI」搭載ロボットの導入ニーズが高まっています。しかし、その実装には「仮想空間での高度な AI シミュレーション基盤の構築」と「実際の現場

における複数ロボットや設備との連携」という両輪が不可欠です。これらを企業がゼロから構築するには、膨大な時間と専門知識が必要となることが大きなハードルとなっていました。

■ 製品概要：シミュレーションから現場運用までをワンストップで提供

「ROBO-HI フィジカル AI 実証プラットフォーム」は、AI モデルの学習・シミュレーション基盤と、実環境でロボットを動かす運用・制御基盤をセットにした検証環境です。NVIDIA Omniverse をベースとしたデジタルツイン環境で AI モデルを学習・評価し、AOS を通じてスムーズに実機へ展開できます。フィジカル AI の実装に必要なソフトウェア基盤と、その立ち上げ支援を包括的に提供します。

■ 本実証プラットフォームがもたらす導入メリット（特長）

1. 煩雑な環境構築をスキップし、すぐに AI 学習・検証を開始できる

高度なデジタルツイン環境（NVIDIA Omniverse 等）の構築・設定は極めて複雑ですが、本実証プラットフォームでは ROBO-HI が現場のスキャンから仮想環境での物理設定までを事前に構築・支援します。お客様は検証環境の立ち上げに労力を割くことなく、本来の目的である「AI モデルの学習」や「業務ロジックの構築」に専念できます。

2. 現場実装のハードルを下げる、標準化された統合制御基盤

ロボットを実際のフィールドで稼働させる際には、ロボットとクラウドの接続、複数ロボット同士の協調、IoT 機器やビル設備（エレベーターやセキュリティゲートなど）との連携といった複雑なインテグレーションが求められます。本実証プラットフォームでは AOS がこれらの統合制御を担うため、お客様が個別に連携システムをゼロから開発する手間やコストを大幅に削減します。

3. 導入実績に裏付けられた実用性

当社の「AOS」は、高輪ゲートウェイシティにおいて異なるメーカーの約 50 台のロボットと、エレベーター・セキュリティゲートなどのビル設備を統合制御しているほか、国内累計 18 カ所で稼働しています。シミュレーションと実運用の双方を同一基盤で扱えることが、本実証プラットフォームの特長です。

分類	項目	内容・詳細
ROBO-HI 提供範囲 (開発・検証インフラ)	デジタルツイン環境インフラ	クラウド GPU 上に構築する NVIDIA Omniverse™ 基盤、現場スキャンデータ、物理パラメータ（重力・摩擦等）の設定
	統合制御 OS「ROBO-HI® AOS」	クラウド上で動作する複数ロボットの一元管理機能、ビル設備（エレベーター・自動ドア等）連携 API
	技術伴走サポート	現場スキャン作業、仮想環境の初期構築、AOS と実機ロボット・設備の接続テスト等の導入支援
お客様ご準備物	検証用ロボット実機	移動ロボット（AGV/AMR）、四足歩行ロボット、ヒューマノイド等のハードウェア本体
	自社 AI モデル・業務プログラム	把持・走行等の学習用 AI モデル、および個別業務を実行するプログラム（スクリプト）

■ 今後の展開

ROBO-HI は、本実証プラットフォームの提供を通じて、製造業からスマートシティまで幅広い領域におけるフィジカル AI の社会実装を推進します。今後はシステムインテグレーターをはじめとするパートナー各社と連携し、提供体制の拡大と対応領域の拡充を進めてまいります。現場でのロボット活用のハードルを下げ、人とロボットが協働する新たなインフラの構築に貢献してまいります。

ご相談はこちらから

下記お問い合わせフォームより、貴社のロボット活用・フィジカル AI 導入に関する課題をお気軽にご相談ください。

ROBO-HI 株式会社 営業部

お問い合わせフォーム： <https://www.rob-hi.jp/contact/inquiry>

※ 記載されている会社名および商品名などは、各社の商標または登録商標です。

※ NVIDIA、NVIDIA Omniverse は、米国およびその他の国における NVIDIA Corporation の商標または登録商標です。

※ 掲載されている情報は、発表日現在の情報です。最新の情報と異なる場合がありますのでご了承ください。

【ROBO-HI 株式会社について】

「ロボを社会インフラにする」というビジョンのもと、創業以来培ってきた幅広いロボット技術・遠隔監視/制御技術をもとに、世界中のロボットが最大限の性能を発揮できる自律運用 OS「ROBO-HI® AOS（ロボハイ® エーオーエス）」をスマートシティ・スマートエアポート・スマートホスピタルへと展開しています。生活を豊かにするライフモビリティ「RakuRo®（ラクロ®）」「DeliRo®（デリロ®）」「PATORO®（パトロ®）」、空港や広い施設で活躍するインダストリアルモビリティ「RoboCar®（ロボカー®）」と、「ROBO-HI® AOS」の連携により、あらゆる現場の省力化・省人化に貢献してまいります。

所在地：東京都中央区晴海 1-8-8 晴海アイランド トリトンスクエア オフィスタワーW 棟 14F

代表者：代表取締役社長 谷口 恒

HP： <https://www.rob-hi.jp/>